

取扱説明書

POWERFUL REIFU

パワフル冷風機 MPR 240

はじめに

このたび当社製品パワフル冷風機をお買い上げ頂き誠に有難うございます。まず、次の点を確認して下さい。

- ●機種は、御注文通りのものかどうか…
- 輸送中の事故で、破損していないかどうか…
- 付属品が全部そろっているかどうか…

もし、不具合な点がありましたら、製造番号と共に購入店または弊社支店・営業所へお知らせ下さい。

本機は冷風を室内に送り込む機械です。他の目的で使用される時は弊社営業所に問い合わせて下さい。

製品は取り扱いを誤ると、事故や故障の原因になります。 で使用前に本書を最後まで熟読して下さい。10分あれば読めます。

- 冷風機についてよくご存じの方でも、この製品独自の取り扱い方法がありますの で必ずお読みいただいたうえでご使用下さい。
- ◆本書では、製品の正しい取り扱い方法や簡単な手入れ方法について記載してあります。
- ●不明のところは製品の購入店または弊社支店・営業所におたずね下さい。

なお、製品の仕様等の変更により、内容が一部異なっている場合がありますのでご 了承下さい。

※製品を譲られる場合は、次の運転者のために本書と一緒にお渡し下さい。

目 次

女全に関	目する表示 アンドラス アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア
第1章	安全作業のために ····································
一般	等項
第2章	各部の名称と仕様
2-1	外 観
2-2	内 部
2-3	コントロールパネル部 6
2-4	ディスプレイ
2-5	仕 様
第3章	各部の取扱い
3-1	コントロールパネル部 8
第4章	運転の前に
4-1	設置11
4-2	移 動
4-3	給 水 ··························12
4-4	排 水
第5章	運 転 ·········· 14
第6章	停 止 ···································
第7章	保守、点検
7-1	フィルターの清掃
7-2	冷却エレメントの清掃
7-3	水タンクの洗浄
7-4	カバーの清掃17
7-5	ヒューズの点検・交換
第8章	保管
8-1	保 管
8-2	長期保管
第9章	トラブルシューティング ····· 20
第 10 章	エラーコード ······ 21

安全に関する表示

安全規則を守らない作業は重大事故の発生につながります。 製品の運転や日常点検の前には、必ずこの取扱説明書をよく読み、十分に理解して下さい。 本書及び当製品で使用する安全に関する表示は、その内容や危険の度合いにより次のように使い分けてあります。

▲ 危 険

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る切迫した 危険が存在していることを示します。 メッセージには、危険の内容とその危険を回避する ための予防措置が記載されています。

▲ 警告

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る可能性の ある危険が存在していることを示します。 メッセージには、危険の内容とその危険を回避する ための予防措置が記載されています。

▲ 注 意

人身事故もしくは製品の重大な破損に至る可能性 のある危険が存在していることを示します。 メッセージには、危険の内容とその危険を回避する ための予防措置が記載されています。

重 要

製品の損傷や著しい性能低下を招く可能性のあることを示します。

メッセージには、それらを回避するために守らなければならない注意事項が示されています。

当社では、あらゆる環境下における作業において起こりうるすべての危険を予測することはできません。したがって、本書に記載されている注意事項はすべてを網羅したものではありませんので、お客様の責任において、十分な注意を払って製品をご使用頂くようお願いいたします。

×	Ŧ	

第1章 安全作業のために

安全上の基本的注意事項

一般事項

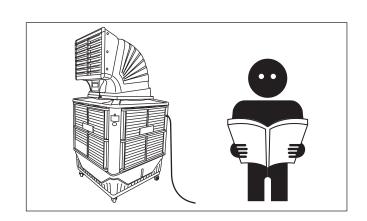
安全運転のために、次のことがらを必ず守って下さい。

1. 取扱説明書を読む

▲ 警告

取扱説明書を良く読み理解するまで運転しないで下さい。誤った方法による運転操作は非常に危険であり人身事故を起こす原因になります。

- 取扱説明書は常に保管し、本製品を取扱うすべて の人が繰返し読むようにして下さい。
- 子供や説明をうけていない大人に運転させない様、 注意して下さい。



2. 指定用途以外に使用しない

▲ 警告

- ◆ 故障の恐れがありますので「塵埃」などを吸わ さないで下さい。
- 指定の用途以外でご使用になる場合は事前に弊 社にご相談下さい。

3. ファン等の回転部への巻き込まれに注意

▲ 警告

- ファン等の可動部に、手や衣類などを近づけないようにして下さい。
- ◆ 冷却エレメントの脱着をする時は必ずスイッチを切りファンの回転が停止していることを確認してから行って下さい。
- 送風口を外して使用しないで下さい。 ファンに巻き込まれてケガする恐れがあります。



4. 適切な環境・状態で使用する

▲ 警告

- 爆発性の粉塵・酸・アルカリなどの腐食性ガス が発生、または発生の恐れのある場所、引火性、 可燃性ガスがある場所で使用しないで下さい。
- 氷結するような場所では使用しないで下さい。
- 塵・埃の少ない場所で使用して下さい。
- ◆ 本体が安定するよう、設置する面に凹凸がなく、 振動の影響を受けにくい場所に設置して下さい。
- 周辺に吸入されやすい物がなく、ファンの吸気 を妨げる物がない場所に設置して下さい。
- タンクの水量は常に点検して下さい。
- フィルターは常に清潔し、清潔に保って下さい。
- 使用する水は、水道水を使用して下さい。 汚れた水を使用しないで下さい。
- ◆ 冷風機の風下に火を使う電化製品をおかないで下さい。一酸化炭素が発生する恐れがあります。
- 火気や熱源の近くに設置しないで下さい。本体の変形や火災の原因になります。

▲ 注 意

本体の上に物を置かないで下さい。本体の変形や故障の原因になります。

5. 運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時は停止する

▲ 警告

運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時はただちに運転を停止して、電源の接続を外し、弊社またはお買い上げの販売店にご相談下さい。故障と思われる場合でも本体を分解したりしないで下さい。感電・火災及びけがの原因になります。

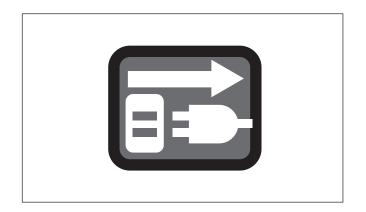
6. 保守・点検・手入れの前には電源を外す

▲ 警告

- お手入れの前には必ずスイッチを切り、電源プラグを抜きファンの回転が停止していることを確認して下さい。
- 電源をいれたまま分解・清掃すると、誤ってスイッチに触れモータが回転しけがをする恐れがあります。
- 使用しない時や停電時は電源プラグを抜いて下 さい。



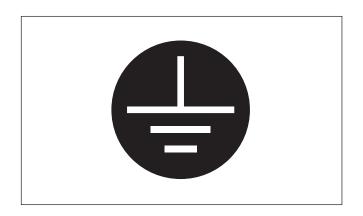
- 定期的にタンク内の水を入れ替え、フィルター、 冷却エレメントを掃除して下さい。
- タンク、ファンの清掃は必ず、中性洗剤と柔らかい布を使用して下さい。 (清掃時は必ず電源を抜いた状態で行って下さい。)

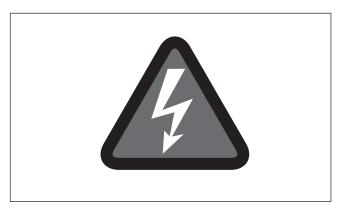


7. 感電に注意する

▲ 警告

- 確実にアースを設置して下さい。
- 濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- 電源プラグを抜く時は必ずプラグをもって抜いて下さい。コードを持って抜かないで下さい。 ショートをする恐れがあります。
- 電源コードを傷つけたり、曲げたり、強く引っぱったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。 電源コードの上に重いものを乗せないで下さい。 電源コードが劣化していたり、絡まったり、損傷している場合は使用しないで下さい。





8. 運搬時の注意

▲ 警

運搬時には必ずタンク内の水を抜き「空」の状態にして下さい。

9. 保管について

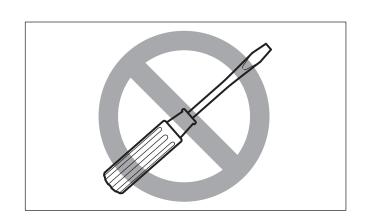
A 注 意

- 長期間保管する時はタンク内の水を抜き、冷却 エレメントをよく乾燥して下さい。
- 冷却エレメントの乾燥は送風モードで、1 時間以 上運転すれば冷却エレメントを乾燥することが できます。
 - (タンク内に水を入れたまま保管すると故障の原因になります。)
- 長期間にわたり保管される場合は温度変化の少ない乾燥した場所で保管して下さい。
- ◆ 本体に異物が侵入しないようにカバー等で覆って下さい。



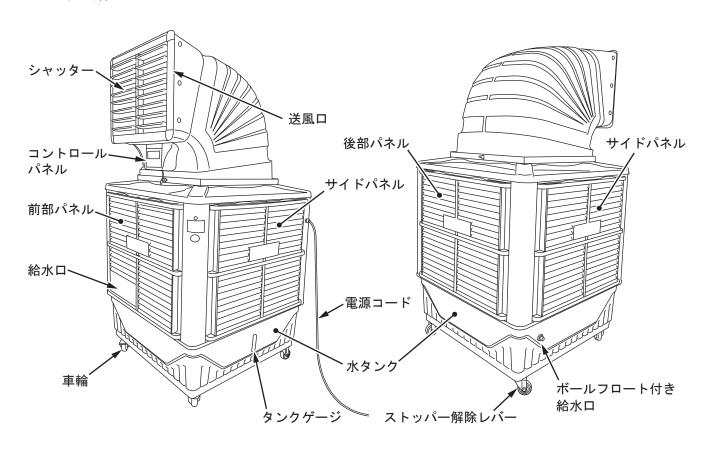
10. 改造の禁止

- ●保障の適用外になりますのでメーカーに無断で改良しないで下さい。
- 冷風機の修理は弊社または販売店にご依頼下さい。

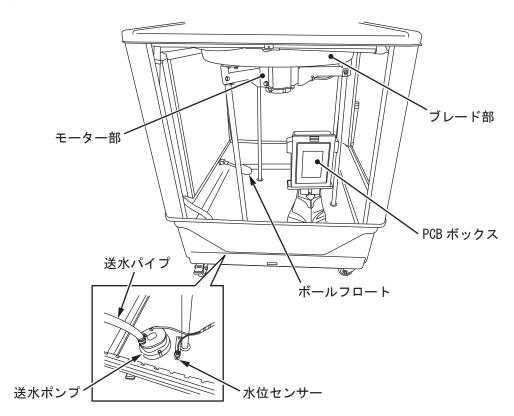


第2章 各部の名称と仕様

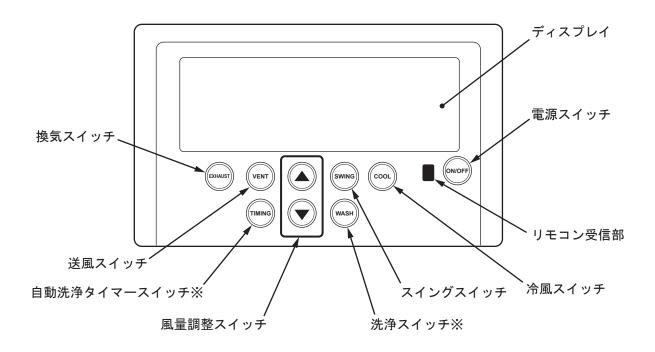
2-1 外 観



2-2 内 部

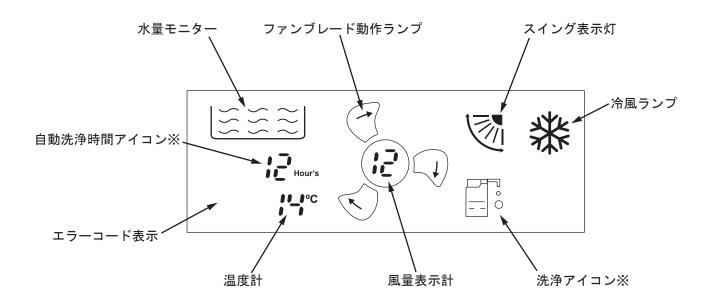


2-3 コントロールパネル部



※本機には洗浄機能は搭載されていない為、洗浄関係のスイッチは機能致しません。

2-4 ディスプレイ



※本機には洗浄機能は搭載されていない為、表示されますが機能致しません。

2-5 仕 様

電源	単相 100 V		
周 波 数	50 Hz 60 Hz		
消費電力	1170 W	1105 W	
風量	261 m³/min	270 m ³ /min	
水蒸発量	26 l /h		
タンク容量	24	0 l	
連続使用時間	9.2 h		
給水方式	タンク貯水式(自動給水可能)		
安全装置	水切れ検知・モーター過熱保護		
運転音 (騒音)	81 dB(A)		
ファン径	602 mm		
寸法(幅×奥行×高さ)	W1100 × D1100 × H1940 mm		
質 量	86 kg		
風向・風量	上下手動・左右自動スイング、風量可変		
付属品	リモコン		

*外気温30℃、相対湿度50%時

注:仕様は予告なく変更することがあります。

第3章 各部の取扱い

3-1 コントロールパネル部

電源スイッチ (ON/OFF)

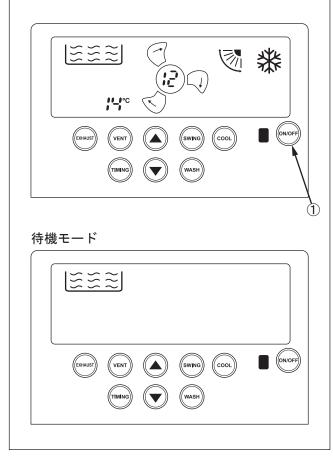
スタンバイモードで電源スイッチ①を押すとファンブレードが回転し、送風モードになります。

もう一度、電源スイッチを押すと"ピッ"と音がしてファンブレードが停止します。

3分間操作が無いと、待機モードに移行します。

重 要

電源コードを接続して、電源スイッチが「OFF」で スタンバイモードになります。



冷風スイッチ (COOL)

送風モードで冷風スイッチ③を押すと、冷風モードになります。送水ポンプが作動して、送風口から冷風が吹き出します。

冷風ランプ④が点灯し水位センサー⑤が有効になりま す

冷風モード時にもう一度冷風スイッチを押すと、送風 モードになります。

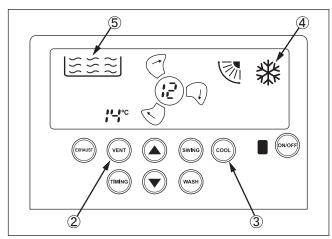
重 要

水タンクに十分な水がなくなると、水位モニターの水位が減り、E7のエラー表示が出て2分後に冷風モードから送風モードに自動的に切り替わります。 (モニターの冷風表示は消えません。)

送風スイッチ (VENT)

冷風モードで送風スイッチ②を押すと、送風モードになります。送水ポンプが停止して、送風口から送風のみされます。

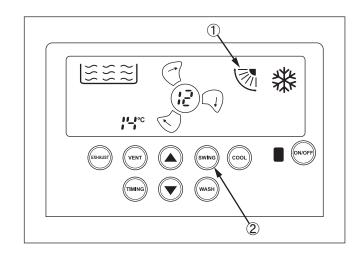
冷風ランプ④は消灯し水位センサー⑤が無効になります。



スイングスイッチ (SWING)

冷風モードまたは、送風モードでスイングスイッチ② を押すスイング表示灯①が表示され、風の向きを左右にスイングします。

もう一度、押すとスイングが停止して、スイング表示 灯が消灯します。

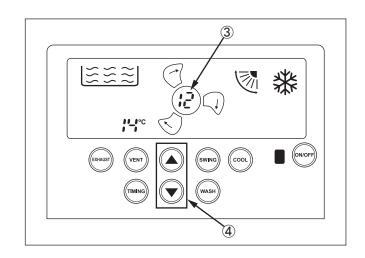


風量調整スイッチ (▲▼)

風量調整スイッチ④で風量を 12 段階で調整すること ができます。

冷風モードまたは、送風モードで風量調整スイッチ (\blacktriangle) を 1 度、押すとファンブレードの速度が上がり、風量が多くなり、③の設定数値が上がります。

風量調整スイッチ (▼) 押すとファンブレードの速度が下がり、風量が少くなり、③の設定数値が下がります。

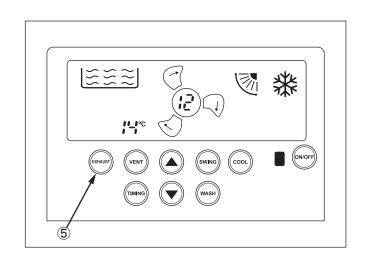


換気スイッチ (EXTRACT)

換気スイッチ⑤を押すと冷風を停止し、ファンブレードを逆回転します。逆回転中にもう一度、換気スイッチ⑤を押すと送風モードになります。

重 要

本機を屋外、送風口を屋内で設置した場合は換気効果があります。同室内では換気機能は効果がありません。



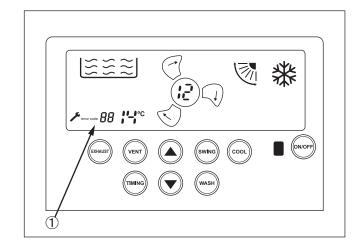
エラーコード

冷風機に異常があるとエラーコード①で故障内容を表示します。

故障の内容は、P. 21 のエラーコードを参照してください。

▲ 注 意

エラーコードが表示された時は、故障原因を取除いてから再起動して下さい。



第4章 運転の前に

▲ 注 意

ファンが破損、変形していないか点検して下さい。 破損、変形している場合はファンを早急に交換して 下さい。

冷風機を使用する時は
● 周辺温度: 18~45℃
● 湿 度: 85%以下
● 大 気 圧: 860~1030hPa
● 水 温: 45℃以下
● 給 水 圧: 0.15~0.6MPa

■ 電圧偏差:10%未満

腐食性のガスのない場所の条件下で使用して下さい。

4-1 設 置

▲ 警告

- 爆発性の粉塵・酸・アルカリなどの腐食性ガス が発生、または発生の恐れのある場所では使用 しないで下さい。
- 氷結するような場所では使用しないで下さい。
- 塵・埃の少ない場所で使用して下さい。
- 本体が安定するよう、設置する面に凹凸がなく、 振動の影響を受けにくい場所に設置して下さい。
- 周辺に吸入されやすい物がなく、ファンの吸気 を妨げる物がない場所に設置して下さい。

▲ 注 意

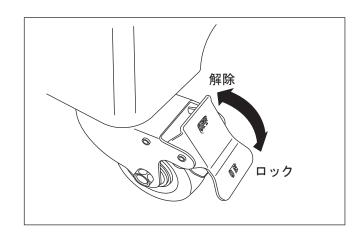
傾斜のある場所に設置しないで下さい。冷風機が動き事故の原因になります。

設置場所は凸凹のない水平な場所に設置します。

4-2 移動

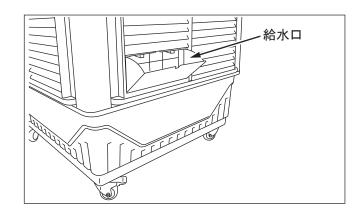
移動する時は、ストッパーレバーを解除して移動して 下さい。

使用する時は、ストッパレバーをロックして車輪を固 定して下さい。



4-3 給 水

(1) 本体の底部にある排水ドレンが閉まっていることを確認します。



(2) タンクに給水します。

▲ 警告

- タンクの水量は常に点検して下さい。
- 使用する水は、水道水を使用して下さい。汚れ た水を使用しないで下さい。
- 汚れた水や古い水を使用すると、異臭の原因と なります。

容器を使用する場合は本体右側の給水口を開けタンクのゲージの「HIGH」の目盛まで給水します。

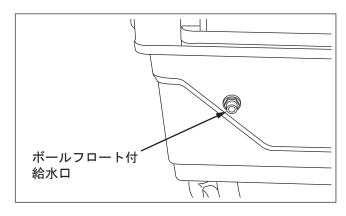


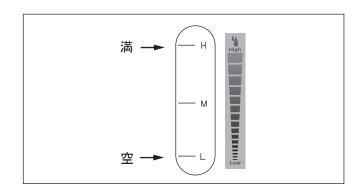
「H」の目盛以上に給水しないで下さい。

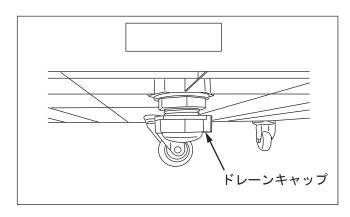
自動給水をする場合はボールフロート付き給水口にホースを接続し水道の蛇口を開けたままにします。水量がタンクの目盛「M」の下あたりまでくるとタンク内のフロートが作動し、給水を自動的に停止します。

▲ 注 意

- 0.15MPa ~ 0.6MPa の水圧で給水して下さい。
- 45℃以上の温度の水を使用しないで下さい。
- (3) 底部ドレーンキャップから漏れがないか確認します。





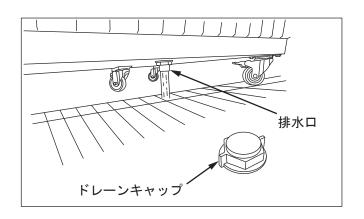


4-4 排 水

本体の底部にあるドレンキャップを外して排水します。 排水後、給水時に漏れがないようにしっかりとドレン キャップを取付けます。

重 要

- 排水施設のある場所で排水して下さい。
- 水平な場所で排水作業を行って下さい。
- ◆ 本体の電源コンセントを取り外し、動作しない 状態で排水作業を行って下さい。



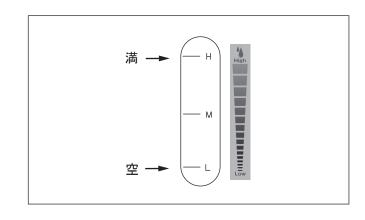
▲ 警告

必ずアースを接続して下さい。

▲ 注 意

運転を開始する前にタンクに十分に水があること を確認して下さい。タンク内に水が十分にない状態 で運転を開始すると水量不足警告灯が点灯します。

(1) タンクに十分な水があるか確認します。タンクに 水がない場合はタンクに水をタンクの「HIGH」ま で水をいれて下さい。

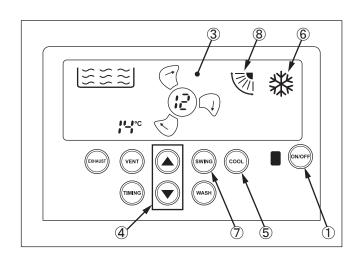


- (2) 電源コードを接続して電源スイッチ①押すと、ファンブレードが回転して、③の羽根表示が回転します。
- (3) 風量調整スイッチ④で風量を調整します。
- (4) 冷風スイッチ⑤を押すと冷風ランプ⑥が点灯して、 送風口から、冷風口から冷風が吹出します。

重 要

水タンクに十分な水がなくなると、E7のエラー表示が出て、2分後に冷風モードから送風モードに自動的に切替わります。(モニターの冷風表示は消えません)

(5) スイングスイッチ⑦を押すと スイング表示灯⑧ が点灯して、左右に風を送ることができます。



第6章 停止

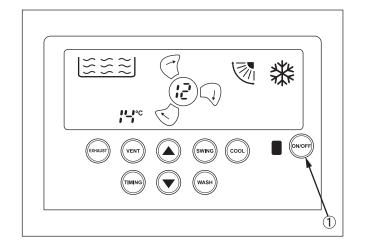
運転スイッチ①を押すと送風が停止して、スタンバイモードになります。

3分間操作が無いと、待機モードに移行します。

▲ 注 意

運転を終了する時は送風モードで10分くらい運転し、冷却エレメントを乾燥させて下さい。

冷却エレメント湿ったまま放置するとカビや雑菌 の発生の原因になります。



第7章 保守、点検

▲ 警告

保守、点検を行う時は電源プラグを抜いて下さい。

▲ 注 意

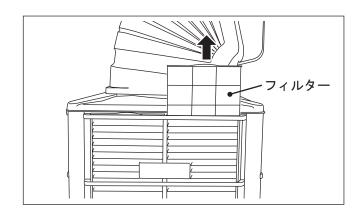
- 修理等が必要な異常が見つかった場合は販売店 にご相談下さい。
- 定期的にタンク内の水を入れ替え、フィルター 冷却エレメントを掃除して下さい。
- タンク、ファンの清掃は必ず、中性洗剤と柔らかい布を使用して下さい。
- 定期的に送水ポンプ、水位センサー、ファンブレードを清掃して下さい。

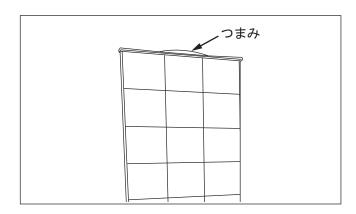
7-1 フィルターの清掃

- (1) 電源プラグを抜き、フィルター (8枚) のつまみを持ってカバーを引き抜きます。
- (2) 水道水でフィルターを清掃します。
- (3) 水分を十分に取除いてから元のとおりに取付けます。

▲ 注 意

- フィルターを洗浄には、酸性またはアルカリ性 の洗剤を使用しないで下さい。
- 週に一度はフィルターを清掃して下さい。塵埃の多い場所で運転する時は、週に一回以上清掃して下さい。フィルターの目詰まりすると冷風機の故障や能力低下の原因になります。
- フィルターは隙間のないよう確実に取付けて下さい。フィルターを取付ける時は、前後の向きに注意して下さい。





7-2 冷却エレメントの清掃

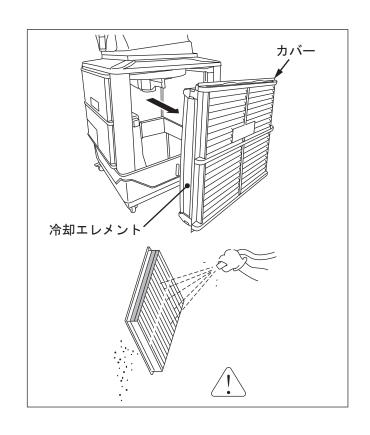
- (1) 電源プラグを抜き、カバーのねじを外します。 側面カバー: 各7本
- (2) カバー上部を持ち、カバーごとフィルターと冷却 エレメントを取り外します。
- (3) 水道水でフィルターと冷却エレメントを清掃します。

▲ 注 意

- 洗浄の水圧が高すぎないようにして下さい。
- フィルター、冷却エレメントの洗浄には、酸性 またはアルカリ性の洗剤は使用しないで下さい。
- 週に一度はフィルターを清掃して下さい。 フィルターの目詰まりするとは冷風機の故障や 能力低下の原因になります。
- (4) 水分を十分に取除いてから元のとおりに取付ます。

▲ 注 意

各カバーは形状が異なりますので間違えないよう に取付けて下さい。



7-3 水タンクの洗浄

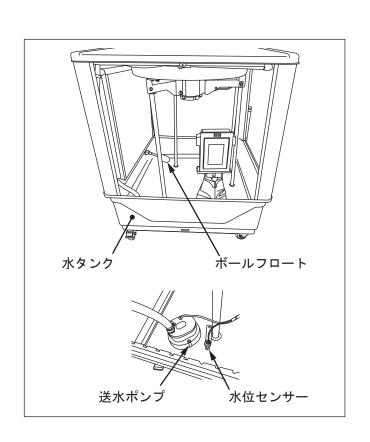
- (1) 電源プラグを抜き、給水口付きの側面カバーのねじを外しカバーを取り外します。
- (2) 底部の排水ドレンキャップを手で開き水タンク内の水を排水します。
- (3) 柔らかい布またはブラシで水タンク内を洗います。
- (4) 湿らせた布で水位センサー、ボールフロートの汚れを清掃します。
- (5) ブラシで送水ポンプとポンプフィルターを清掃します。

7-4 カバーの清掃

カバーが汚れた時は低刺激の洗剤を使用して、柔らかい布で清掃して下さい。

▲ 注 意

泡の立つ洗剤や揮発性溶剤、硬いブラシを使用しないで下さい。誤った清掃の仕方をすると冷風機が損傷することがあります。



7-5 ヒューズの点検・交換

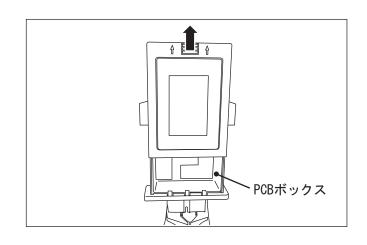
電源を「ON」にしても冷風機が始動しない時はヒューズが断線していないか点検して下さい。

▲ 警告

ヒューズを交換する時は、電源スイッチを「OFF」 にして、電源クラブを外してから行って下さい。 ヒューズ取付け時に不意にファンブレードが回り、 巻き込まれる恐れがあります。

▲ 注 意

- 濡れた手でヒューズを交換しないで下さい。 感電の恐れがあります。
- ヒューズには防水カバーをして下さい。防水カバー取付けないと漏電やショート感電の原因になります。
- (1) PCB ボックスのカバーを上にスライドさせて、カ バーを抜取ります。

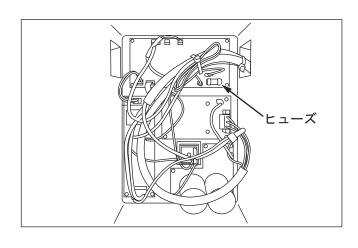


(2) ヒューズの防水カバーを外してヒューズが断線していないかを確認します。断線していれば、新品と交換します。

ヒューズの規格

電圧: 250V 電流: 5A

サイズ: ϕ 5 × 20mm

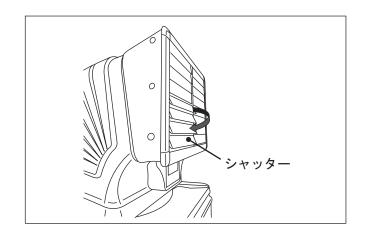


第8章 保管

8-1 保管

運転が終了した時は、下記の処置をして下さい。

- (1) 送風モードで約10分間運転して冷却エレメントを乾燥させます。
- (2) 運転スイッチを押して停止して電源コンセントを外します。
- (3) 送風口のシャッターを閉じて 送風口からほこり や異物が入らないようにします。



8-2 長期保管

▲ 注 意

- 長期間にわたり保管される場合は、屋内で温度 変化の少ない乾燥した場所で保管して下さい。
- ◆ 本体に異物が侵入しないようにカバー等で覆って下さい。

冷風機を保管する時はタンクから水を完全に抜きとり、 送風モードで1時間以上運転し冷却エレメントが完全 に乾いてから保管して下さい。

第9章 トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを「ON」に しても動かない。	a. 電源の電圧が低い b. ヒューズが断線している。 c. 電源コードが断線している。 d. コントロールパネルが破損している。	a. 規定の範囲の電圧で使用する。 b. ヒューズを交換して、再起動する。 c. 電源コードの損傷を確認し、損傷があれば、交換する。 d. コントロールパネルを交換する。
	e. モータが高温になっている。 f. モータの配線が外れている。 g. 端子リレーコンタクタが故障している。	e. モータを停止して、冷却する(20分間) f. モータの配線を接続する。 g. 端子リレーコンタクタを交換する。
頻繁にヒューズがとぶ	a. ポンプが故障している。	a. ポンプを交換する。
水が漏れる	a. 冷風機が傾いている。 b. 水タンクが破損している。 c. ドレインキャップが緩んでいる。	a. 水平な場所に移動する。 b. 水タンクを修理する。 c. ドレインキャップを締めなおす。
異音がする。	a. ファンブレードが変形、破損している。 異物を巻込んでいる。 b. 吸気口または送風口に異物がある。 c. モーターが劣化している。	a. ファンブレードの清掃、交換する。b. 吸気口または送風口を清掃する。c. モーターを交換する。
送水ポンプは動いている が冷風が出ない。	a. 冷却エレメントまたは、フィルターが目詰まりしている。b. 冷却エレメントが乾燥している。c. 周辺温度が高すぎる。d. ファンブブレードが回転していないまたは回転が遅い。	a. 冷却エレメント、フィルターを清掃または、交換する。 b. 送水ポンプ,配管を清掃する。 c. モータを停止して、換気をする。 d. モーターが故障していないか確認して下さい。
送水ポンプが動かない	a. 送水ポンプが高温になっている。b. 送水ポンプが故障している。c. 送水ポンプの配線が外れている。d. 水位センサーが故障している。	a. 送水ポンプを停止して、冷却する。 b. 送水ポンプを交換する。 c. 送水ポンプの配線を確認する。 d. 水位センサーを交換する。
送水ポンプは動いている が送水されない。	a. 送水ポンプが詰まっている。 b. 配管が詰まっている。	a. 送水ポンプ、水タンクを清掃する。 b. 配管を清掃する。
送風、冷風時異臭がする	a. 水タンク内の水が汚れている、または腐っている。b. 冷却エレメントにカビや雑菌が繁殖している。	a. 水タンクを洗浄して、新しい水に入れ替えて下さい。 b. 冷却エレメントの清掃、または交換を行って下さい。

- 注:1. 記載されいる故障内容は、1部の例であり、全てを記載しているものではありません。
 - 2. 本機が故障したり、部品の交換は販売店または弊社支店・営業所にご連絡下さい。

第 10 章 エラーコード

エラーコード	エラーの原因	処 置
E1	電源の電流が規定値を超えている。	電源スイッチを OFF にして、電源コンセントを接続し 直してから、電源スイッチを ON にする。
E2	電源の電圧が高い。	電源スイッチを OFF にしてから ON にする。 電源の電圧が規定値以下であれば、自動回復します。
E3	電源の電圧が低い。	電源スイッチを OFF にしてから ON にする。 電源の電圧が規定値以上であれば、自動回復します。
E4	本機での仕様はありません。	
E5	ショートしている。	ショート個所を修理する。
E6	モジュールが過熱している。	モジュールの温度が 70℃以上になるとシステムが停止 します。約 15 分間、冷機してから再起動する。
E7	水量が低下している。	水を補給する。(水量の低下が2分以上続くと送水ポンプが停止します)水を補給しても、エラーが表示する時は水位センサーを交換する。
E8	通信異常 PCB ボックスのコードが外れている。 または断線している。	コードを交換する。再起動後は電源を入れ直した状態 になります。

×	Ŧ	

パワフル冷風機 MPR240 保証書

本保証書は日本国内のみ有効です。This Warranty is valid only Japan お客様の正常なご使用において万一故障が発生した場合は、当保証書記載の規定により、無償で交換または修理させていただきます。

- 1. 保証期間内(お買上げ日より6ヶ月間)に正常なご使用状態において万一故障が発生した場合は、無償で交換または修理させていただきます。その際はお買上げの販売店にご連絡下さい。
- 2. 次のような場合には保証期間内の故障でも有償とさせて頂きます。 (郵送料等諸掛りはお客様のご負担となります。)
 - 1) 本保証書にお買上げ日及び販売店名の記入・捺印が無い場合。
 - 2) 誤用・乱用及び取扱不注意、取扱説明書の禁止事項による故障又は損傷の場合。
 - 3) 弊社指定の販売店以外での修理.改造・分解が行われた場合。
 - 4) 火災・地震・水害及び盗難等の災害・不適切は移動、落下などの場合。
 - 5) 使用中に生じたキズ・汚れなどの外観上の変化、ガソリン・エンジンオイルなどの汚れ。
 - 6) 付属品の交換。
 - 7) 原因が本製品以外に起因する場合。
 - 8) 本保証書の指示がない場合及び必要事項の記入が無い場合。

製	品名	MPR240				本製品番号	
お客様	ご住戸ご氏名						
お買	上げ日		年	月	日	保証期間	お買上げ日より6ヶ月間
販売店	ご住別ご氏名						

本保証書は製品番号、お買上げ日、販売店の記載がない場合は、無効とします。

必ずご確認いただき、記入なき場合はお買上の販売店にお申し出下さい。

この保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償で交換又は修理をお約束するものです。

したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

×	Ŧ	

